



No.24 2005.6.25 発行  
 群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報  
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>  
 E-mail suiran-taiikukai@apost.plala.or.jp

## 今春、新運動部長に 長竹 潤先生就任



運動部長  
長竹 潤

### 《就任の御挨拶》

去る3月20日、高崎高校バスケットボール部はもとより群馬県のバスケットボールの発展にご尽力なされた清水貞保(30期)先生がご逝去されました。先生の生前の御功績に敬意を表するとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

翠巒体育会の皆様には、日頃から運動部活動の後援をはじめ、様々な面でご指導ご支援いただき有難うございます。この場を借りて御礼申し上げます。今春の異動で転出となった坂田和文運動部長(高崎在職15年)の後任として、お世話になることになりました長竹と申します。平成15年度より立見賢治先生(現伊勢崎商業教頭)の後任として本校に着任し、現在に至るまでバスケットボール部の顧問をさせて頂いております。バスケットボール部の活動は翠巒体育会の皆様やOB会の皆様に温かい御支援をいただき何とか軌道に乗り始めているところであります。今年度からは運動部長として、微力ではあ

りますが、高崎の運動部活動のさらなる発展のために、努力していきたいと思っております。何卒宜しくお願いいたします。

さて、今年度の高崎の部活動状況ですが、運動部は19の部が活動しています。参加人数は、625人(1年227人、2年212人、3年186人)、参加率65.2%という状況です。高崎高校の伝統である文武両道の精神のもと、学業に精励し、部活動で心身を鍛えております。昨年度は、高校総体総合第3位、インターハイの団体出場はありませんでしたが、個人では陸上・ソフトテニス・水泳・スキーが出場、国民体育大会には、バスケットボール・バレーボールが県選抜チームとして、陸上・水泳が個人として出場いたしました。一方、今年の成績を占う新人戦は、各部ともに頑張りましたが例年より苦戦を強いられました。今年の高崎総体に関しては、陸上の競技がまだ終了していませんので、現時点までの途中報告になりますが、ご了承いただきたいと思っております。本校は過去5年間、様々な競技で得点を重ねることで総合2、3位の座を確保してきました。今年も現時点では総合3位をキープしていますが、得点は68点と昨年の最終得点である84.5点よりも16.5点ほど低くなっています。陸上の結果次第では4位の可能性があるのが現状です。競技別で見てもこの総体の結果は厳しく、例年活躍しているバスケット・バレー・柔道が善戦虚しく5位、ソフトテニス・テニスが3位に食い込んだのが最高成績でした。関東大会への出場も、例年より少ない状況です。ただ、本校の特徴である様々な部がそれぞれの持てる力を発揮して下位でも入賞して得点を重ねるといった良い面は続いているので、インターハイに向けて、さらには来年に向けて頑張ってくれるものと期待しております。よって、各運動部における今後の目標は、県内での実力を復活させ、県外での勝利を一つでも多く勝ち取れるような体制を整えていくことだと思います。

次に、本校生徒の生活実態を睡眠と食事の観点で調査した結果を以下に述べてみます。睡眠は身体と脳が休息するための大切な時間だということは周知のとおりです。身体の疲れは横になっているだけでもある程度は回復できますが、知的活動を行う大脳は起きている限り休息することは不可能です。さらに、傷ついた筋肉や内臓などを修復する効果もあります。高崎生の睡眠時間を見てみると全体的に少ない傾向にあります。全国平均が7

時間程度に対して、本校の平均は6時間程度です。そして40%の生徒が睡眠不足を訴えています。睡眠時間には個人差があるので、長短を議論しても仕方ありませんが、心身ともに意欲的な活動が行える状態でなければ成果は上がらないはずです。心身を鍛える時期だからこそ、自分の潜在能力を最大限生かせるベストの状態を維持して欲しいと思います。また、食事については以下のような結果が見てとれます。日本は世界一の長寿国ですが、飽食ゆえの栄養の摂り過ぎや偏食などによる長期間の食生活の乱れが生活習慣病を増やしつつあります。国民栄養調査においても朝食の欠食率が年々増加しており、若者の欠食率が高くなっています。朝食の欠食により、子供達が訴える症状には、イライラする、体がだるい、集中力がない、じっと座ってられない、生あくびが出るなどがあります。さらにはつきりした疾患がないのにただ漠然と気分が悪いという訴え、いわゆる不定愁訴が見られます。高崎生の朝食摂取の状況を見てみると、朝食をとらない生徒が20%もいます。この生徒たちは午前中の活動に支障がでてしまいます。エネルギーの源である食事に対してもっと意識的に取り組む必要があるはずです。また、高校生時期に基本的な生活習慣を確立することは生涯を通じた健康へもつながり、将来様々な分野で活躍するときにかけての無価値な財産になるはずはです。

最後に、伝統男子校の真髄である文武両道に高崎は大きな価値をおいています。これを実践してそれ相応の結果を得ることは容易ではないということは周知のとおりです。私が外から高崎を見ていたときには、文武両道という「勉強も運動もできるすごい人」「限られた人間にしか望めないもの(羨望の眼差し)」というような見方をしていました。しかし、実際に高崎で生活していく中で高崎の文武両道とは、「知行合一」であると思えました。「知行合一」とは、行動の哲学といわれる東洋思想の陽明学の中心的な考え方で、「多くの提言、意見は百出するけれども、実行してこそ本当の意味がある」ということです。まさに高崎の文武両道とは、理論だけでなく口頭だけでなく、日々の場面で何事にもひたむきに自ら行動し、実践し続けていくことなのだと思います。こういった高崎に脈々と受け継がれてきた伝統の血をしっかりと受け継ぎ、継承していけるよう精進していきたいと思っております。

## 特別寄稿

# 清水貞保先生(翠巒体育会顧問)を偲んで

### 「清水先生の思い出」

岩田武雄(53期)

先生は平成17年3月20日、93才の天寿を全うされました。ここに哀悼の意を込めて先生の思い出を記させていただきます。

先生は、昭和18年母校旧制高崎中学校に体育教諭として着任され、退職される昭和48年まで実に30年間の長きにわたって高々バスケットボール部顧問をされました。第二次大戦中は敵性競技として活動が禁止されていた籠球部が敗戦後の昭和20年に活動を再開できた時、素人ながら籠球部顧問に就かれ更に昭和23年の新制高校発足に伴って、引き続きバスケットボール部顧問として幾多の俊秀を育成されました。

又、高崎市バスケットボール協会理事長・群馬県バスケットボール協会理事長・同副会長などの要職を歴任された先生は、高々バスケットボール部の歴史のみならず高崎市及び群馬県バスケットボール界の戦後の歴史形成に中心的役割を果たされました。

先生は人を使うのが上手で、井上卯一郎(33期)・橋爪良恒(44期)・佐橋一夫(49期)さんら錚々たるOBの協力を得て、天下の高々バスケットボール部の基礎を固められました。昭和26年、近所の先輩に「お前は背がでかいから」と何度も誘われて、半強制的にバスケット部に入れられたのが私のバスケットボール人生の始まりであります。

当時の高々バスケットボール部は第一期黄金時代で、新制高校発足時からの5年間に2年連続を含めて4回のインターハイ出場・国体五位入賞・北関東大会3年連続優勝などの輝かしい成績を残していたのです。

1年生の正月、先生から「お前見慣れない顔だな、いつ入部したのか」と聞かれ、「12月28日です」と答えると、「バスケット

ボールは体力だけでは上手くならない。勉強しない者はダメだ。単位を落としたら休部だぞ」と懇々と諭され、「大変な部に入ってしまった」と思ったものです。

2年の始めに学業が振るわなかったので父親に「お前はバスケットをする為に高々に行ってるのか」と詰問され、「退部する」と約束させられました。でも隠れて部活を続けていたのがばれて、父親が先生に直に退部を申し入れてしまいました。すると、先生が家に来て下さいました。先生の熱心な説得が功を奏してバスケットを続けることができるようになりました。先生が父親を説得して下さいたからこそ、高校・大学・社会人と生涯にわたってバスケットボールと関わることができたのです。有難くも深く感謝しています。

社会人の昭和58年、群馬国体成年男子の監督をして、高崎浜川体育館で秋田県と優勝を争った時の事も忘れられません。「ぐんまぐんまー」の大声援の中、「岩田頑張れー」の声が2階席から聞こえてきました。最前列から身を乗り出して、清水先生と井上卯一郎さんが応援してくれていたのです。大変勇気づけられました。

又、悠々自適の生活に入ってから橋爪良恒さんとヨーロッパ旅行に行き、「これは岩田が一番いいと思った」と言って、ギリシャのオリンピック発祥の地の写真を土産に下さった事なども懐かしい思い出です。

一昨年先生の自宅にお伺いし、文明堂のカステラを差し出すと、「俺の好物をよく知っているな」と喜んで下さいました。そして、私が当時監督をしていた中央大学が「関東学生リーグ戦準優勝でインカレも準優勝しました」と報告すると、我が事のように、あのにこやかな顔で喜んで下さいました。

高々バスケットボール部の基礎を築き、発展させ、揺るぎない伝統を樹立された先生は高々バスケットボール部のみならず高崎市及び群馬県バスケットボール界

の大恩人です。ここに深甚なる感謝を込めて先生の思い出の一端を述べて頂きました。

### 「清水貞保先生のこと」

友松敬三(62期)

高々入試の時の出来事です。数学の試験の終了まであとわずか。尿意を催し室外へ出ると、ガラーンとしていた廊下を向こうから一人のオジサンが歩いて来ました。「こづかいさん! 便所は何処?」(当時のまま、今は校務員さんです。失礼。)  
「なに! 俺はこづかいじゃない。この学校の教諭だ、清水先生と言え! お前は誰だ? 学校名と自分の名前を!」  
「僕は一中の友松です。」  
「ああ、お前が一中の友松か、善ちゃんの三男坊だな。(父善三郎25期) 出来が悪いと聞いていたが、数学大丈夫か? まだ時間があつたのに……。」  
「取りあえず全部書きました。あつているか、あつてないか解らないけど……。」

今でも鮮明に記憶しております。これが45年余りにわたりご指導を頂いた我が恩師、清水貞保先生との最初の出会いでした。兄貴二人(49期・50期)は出来が良いの、受験する三男坊は一中のバスケットボールマン、目茶苦茶明るいのが取り柄という、とても心配な紅顔の美少年と言われておりました。

1・2・3年と毎日がバスケット。勉強の思い出は余りありませんが、クラブでの友情や清水先生との数々のエピソードは枚挙にいとまがない程沢山あります。合宿時の買い出しの面倒、生徒会室のベッドの並べ方、怪我をした部員の救急車の手配、辞めそうになった部員のくどき方等々、頭先から足の下まで本当にお世話になりました。合宿の夜のこと、護国神社のアベックを覗きに行く時、「おい、お前ら、決して見つかるんじゃないぞ!」とか、柳川町へ酒を飲みに行った留守に、先輩の飲

## 中島クリニック

中島 透 (バスケット部 73期)

〒370-0065 高崎市末広町85-1  
TEL.027-323-2077

## 高崎白衣大観音 高野山別格本山 慈眼院

住職 橋爪 良真  
(バスケット部 75期)

高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269  
<http://www.takasakikannon.or.jp/>

## 宮下歯科医院

宮下 英一郎  
(バスケット部 74期)

高崎市中紺屋町37 TEL.027-326-6211

み残したビールピンにオシッコをまぜた時、「おいおい!先輩が腹をこわしたらどうする……。」自分の家にいる親父さんみたいな存在でした。

我々が社会人になり、OB会員になってもまだまだ清水先生との「ご」交流は続きます。最愛の奥様と上和田町の家で過ごされた日々、何度もおじゃまさせて頂きました。丹精に育てられた花々の説明を受けたり、OB諸氏と先生との交流会を開かせて頂いたり、とても懐かしく楽しい一時でした。

先生の喜寿のお祝いに、OB会で何か記念品を贈呈しようと幹事会で決まり、小生が先生のお宅を訪問しました。「わがままを言うようだが、これを見てくれ!これは俺の親父が持っていたすごい花瓶だ。こんなのが欲しい。」さっそく妻と二人で富山県高岡市へ飛びました。市の案内で有名な製造元を訪ね、時価?百万円の「あめろう」の花瓶を探し、祝賀会を催し、OB会全員の気持ちを込めました。「友松!幾らだったんだい!」先生にも、会員にも聞かれました。そこは小生、昔の商売人、うまい交渉で、予算の範囲内。清水先生の本当に嬉しそうな顔を見せて頂きました。

春になると毎年、おいしい京都風の蕎麦を煮て先生に献上します。今日又、蕎麦を煮ました。合掌御冥福。

## 「ポテを認んで」

小澤武男(57期、旧姓・高橋)

清水貞保先生のご長男の清水良一さんと私は、高崎第二中学校の同級生であり、高々57期の同級生でもあることから、以前より先生のお体の体調が優れないとお話は、良一さんよりお聞きしておりましたので、ある程度は予期しておりましたが、実際の先生の訃報を良一さんから受けた時には、瞬く間に涙が頬を濡らしました。

先生と私の出会いは、昭和27年中学1年の時だと記憶しております。私の二つ上の兄が二中でバスケットをやっており、その感化により入学と同時にバスケットを始めました。二中の顧問の堀内先生(堀口?かも知れない)のお住まいが、先生と同じ地区の上和田町であるとの関係で清水先

生にお願いして、短期間ではありましたが、当時群大のバスケット部の部員であった鈴木武文先生(51期、群馬県バスケットボール協会会長)と田中忠義先生(51期、元高市女バスケット顧問教師)をコーチとして二中に連れてきていただいた際に、清水先生と初めてお会いしました。(当時私は二中1年生)

先生と初めて言葉を交わしたのは、高々に合格して、クラス分けのための学内選考試験の時に、先生が受験教室に来て『バスケット部に入学しろ。』と言われたのが初めてでした。私は当初より勉学のため入学を目指していたのではなく、高々でバスケットがやりたくて入学したので、即座に『お願いします。』と言ったことを記憶しております。

入学式が始まる以前から練習に参加しました。当時高々バスケット部は3年生、佐藤兵衛さん、2年生、松澤宏光さん・岩井義久さんの3名でした。(2年生、松澤貞雄さんは後日の入部)新入生の入部は一中より藤原、二中から私と柴山、三中から阿部(須藤)の4名、(富沢収さんは2年生の後期に入学)でやっとチーム編成が出来たような状態でした。

先生からバスケットの実技指導を受けたことは一度もなく、(バスケットOB諸兄で先生に実技指導を受けた者はいないと思います。)実技の指導は岩田武雄さん(53期、元翠巒体育会会長)と池上さん(52期)が厳しく指導してくれました。先生の仕事は、県下のバスケットボール協会を束ねること、部の運営面と部員管理指導であり、遠征先や合宿での食事の世話、OB諸兄への部の活動報告、協力要請等の雑務を一手に引き受けておられました。この裏方の仕事の方が大変であり、気苦労が多いことは、社会人となってから判りました。一度だけ、先生がフリースローを投げているところをこっそり物陰から覗いたことがありましたが、期待通り全く入らず、リングに届くこともありませんでした。

このようなバスケットが下手な先生をOBの諸先輩が敬愛し、尊敬していたのは、先生の教育者としての熱意が教え子達の心に伝わり、残っていたからではないでしょうか?

私は、先生から注意と指導は受けまし

たが、怒られたことは一度もありませんでした。しかしながら、自分が社会的にも認められるようになった原点を振り返れば、バスケットボールであり、バスケットで培われた努力をすること、社会と協調することを実践したことにより、私の生活信条である『どんな人でも必ず良いところがある、だからその人の良いところだけを見て付き合っていこう。』が出来たのです。

『先生、高橋は先生と巡り会ったことにより良い人生が送れそうです。OB会の諸先輩の協力を得て、伊香保での退職祝い会、清水先生を励ます会、受賞祝賀会、先生の奥様の野辺の送りもお手伝いをさせて頂いていただいたこと、毎年必ず年賀状をお忘れなくいただけたこと等が走馬灯のように思い出され、この追悼文を書きながら涙を止めることが出来なくなりました。もうこれ以上は書けません。先生さようなら。』



↑ 1972年卒業アルバムより

↓ 高高創立100周年記念祝賀会にて



硬式テニス部OB(83期)

専務取締役 **高橋 裕宗**

株式会社 **丸高海苔**

高崎市問屋町西1-5-7 TEL 027-362-1341

硬式テニス部OB(91期)

**原 寛**

カネト水産 つりぼり・虹鱈料理・手打ちそば  
群馬郡倉瀬村大字川浦3900-156 TEL.027-378-3132  
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

硬式テニス部OB(83期)

**長谷川 酒店**

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。

**長谷川 泰三**

高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

# 16年度 事業報告

- 4月6日  
● 役員会議 (第1回)
- 4月27日  
● 編集会議 (第1回)
- 6月3日  
● 関東大会出場の部へ祝金贈呈
- 6月3日  
● 編集会議 (第2回)
- 6月16日  
● 役員会議 (第2回)
- 6月25日  
● 総会・懇親会
- 6月30日  
● 翠巒体育第23号発行
- 7月16日  
● インターハイ出場の部へ祝金贈呈
- 7月21日  
● ゴルフ大会役員会議 (第1回)
- 8月19日  
● ゴルフ大会役員会議 (第2回)
- 8月29日  
● 第14回ゴルフ大会
- 9月7日  
● 高校OB対抗ゴルフ大会 (出場者慰労)
- 10月1日  
● 役員会議 (第3回)
- 11月5日  
● 関東高校駅伝出場祝金贈呈
- 11月8日  
● ソフトボール役員会議
- 11月10日  
● 高崎高校マラソン大会 盾・トロフィー贈呈
- 11月20日  
● 親睦ソフトボール大会
- 3月1日  
● 高崎高校卒業式
- 3月24日  
● 役員会議 (第4回)



インターハイ出場の部へ祝金贈呈

ソフトテニス部●  
陸上競技部●

関東大会出場の部へ祝金贈呈

- バレーボール部
- バスケットボール部
- 弓道部
- 柔道部
- ソフトテニス部
- 陸上競技部



高崎高校マラソン大会 盾・トロフィー贈呈



応援部OB会会長に団旗支柱購入補助金贈呈



## 応援部への寄付金の御礼

応援部/秋山 賢治 (74期)

平成16年、応援団旗のポール〔棒〕購入に際しましては、翠巒体育会より多額の寄付をいただきました。高崎高校・応援部OB会からの拠出金とあわせ、立派なポールを購入することができ、夏の甲子園大会予選より、高高健児の象徴として、スタンドの応援にあわせ応援団旗を翻すことができました。

高崎高校の応援団旗は、昭和56年春の選抜甲子園大会出場を契機に新調されましたが、以来20年余の年月を経て、傷みが目立っております。平成15年、永年応援部の顧問を務めていただいた植原政明先生がご逝去され、ご遺族のご厚意により、応援団旗を寄贈していただきました。全体同窓会でも、総会会場の壁に掲揚させていただいておりますが、県内でも有数の大きな団旗です。

その旗を支えるポールは、強風にも耐え、またエール交換の際に上げ下げする関係から、大変な負担がかかります。従来ポールも修理を重ねて使用してまいりましたが、



バレーボール部OB (78期)

## 清水硝子加工

代表 清水 道之

高崎市飯塚町1441-1 TEL・FAX 027-361-1976

バレーボール部OB (82期)

特級 (一般) 種別認定代理店

## 有限会社 大沼保険事務所

取締役 岩丸 高明

群馬郡箕郷町東明屋481-11 TEL.027-371-5914(代)

野球部OB

代表取締役社長 川手 義昭 (会長・62期)

## 群馬小型運送株式会社

高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000

## 株式会社 エイテック

群馬郡群馬町中泉811 TEL 027-372-8111

アルミ製等では強度が足りず、木製が重用されています。しかも特別注文のため高価なものです。翠巒体育会の皆様のご理解、ご協力を心より感謝を申し上げます。

創立100年を超える伝統校として、現役の応援部員も誇りと自覚を持って活動しております。従来の応援にあわせ「天行く翼」や「敵軍」など高崎高校の伝統と個性を生かしたリーダーで、同窓生とも一体となった応援を続けていただきたいと思います。応援団旗は、そんな高崎高校をいつまでも見守ってくれることと確信します。ありがとうございました。

**総会・懇親会**

硬式テニス部 / 浜名 和也 (84期)

高橋氏を新会長に迎えての定期総会が、阿久澤氏(サッカー・69期)を司会に約50名の参加を迎えて開かれました。顧問として、国峯氏・岩田氏・山口氏も参加していただきました。

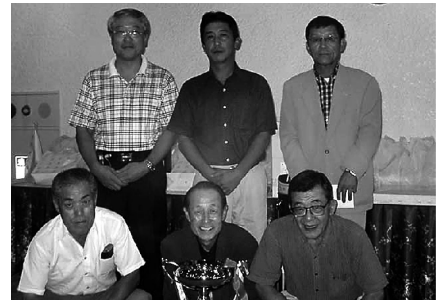
会長の挨拶に続きまして、平成15年度の事業報告・会計報告・監査報告がなされ、また平成16年度の事業案・予算案が審議されました。事業案の新機軸として、10月のソフトボール大会が事業計画に盛り込まれました。(私も10月に参加しましたが、なかなか面白い企画であったと思います。ただ外野を守って頭を越された時がつかつたのを記憶しています。)

続いて第12回高々同窓会ゴルフコンペが、68期担当で、予定が50組参加で27ホール必要ということで場所を検討しているとのことでした。さらに第103回高中・高々同窓会についての話し合いが持たれ、今回は74期が担当のことで、秋山氏から平成17年1月22日に開催予定ですが、80期以降の参加を多くしたいとの発言がなされました。体育会の協力が必要という話がすすむ中で、初代会長の国峯氏からも体育会を通じて若手の同窓会参加を促すよう要請がありました。

その他として、83期の齊藤氏を会長にテニス部が新しく仲間に加わったことが報告され、これからは地域密着のスポーツ振興が大事になると思われますが、同窓会の顔がなかなか見えないのでスポーツ団体の方にも積極的に参加してもらって活躍してもらいたいとの話もなされました。

その後の懇親会は、高々運動部の顧問と一緒にそれぞれ部の近況報告など

受けながら楽しくにぎやかに過ごしました。自分たちの現役時代の話や、後輩たちの活躍を肴に酒杯を酌み交わすのもうれしいひと時でありました。



**ゴルフ大会 個人優勝**

水泳部 / 永尾 俊弘 (70期)

今回翠巒体育会のゴルフ大会に、同伴競技者に恵まれ個人優勝できたことを、たいへん嬉しく思っております。本当に幸運にも恵まれ、またハンディにも恵まれた予想外の優勝でありました。これを機により修練に励み、来年の大会ではよりすばらしいスコアを出したいと思っております。残念な点は、水泳部OB会の今ゴルフ大会の参加者が、私の不手際もあり団体戦の参加メンバーに足りず、団体戦に参加できなかったことです。来年度は是非水泳部OB会として、団体戦に望みたいと思っております。



**ゴルフ大会 団体優勝 柔道部**

柔道部 / 庭田 登志男 (68期)

残暑の中、我が柔道部は藤崎 裕 (54期)、沼賀 勝平 (55期)、小笠原 庸介 (55期)、小野 敦美 (57期)、庭田 登志男 (68期)、吉原 成哲 (75期) 以上6名、若々しい?メンバーで出場いたしました。翠巒体育会のホームページで記録を見ますと8回から13回までで2位が3回、3位が2回と健闘はしているのですが、優勝に手が届きません。7回以前のデータが無いのでよく判りませんが、私の記憶では随分前に太平洋クラブで優勝したのが最後だと思います。スタート前に沼賀さんに「今年は優勝するぞ」と気合いを入れられたのが効をそうしたのか、2位に6打差をつけ、念願の優勝をすることができました。上位4名の合計スコアは最少、4名の年令合計は最多だと思います。おまけにシニアバズグロを沼賀さん、バズグロを庭田が獲得いたしました。この勢いで次回、2連覇を狙います。

最後に各部の皆様のご健闘お祈り申し上げます。柔道部はいつでも挑戦を受ける覚悟です。



創業明治11年  
総合建設業・一級建築士事務所  
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001  
認証取得

**株式会社 研屋**

常務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)  
本社 / 高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

**野球部OB ハワイウォーター**

小林 均 (77期)

有限会社 小金  
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614  
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

**山岳部OB (84期)**

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営  
高崎市倉賀野町1713 TEL 027-346-1463

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	柔道	325
2	卓球	331
3	水泳・バスケット・山岳(合同)	337
4	陸上	343
5	野球	343

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	アウト	イン	グロス	HCP	ネット
1	永尾俊弘(水)	41	45	86	14.4	71.6
2	藤崎 裕(柔)	39	40	79	7.2	71.8
3	川手義昭(野)	41	38	79	7.2	71.8

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	アウト	イン	グロス
1	庭田登志男(柔道)	40	37	77
2	大田部功(ラグビー)	38	39	77
3	橋爪洋介(卓球)	38	39	77

●グロス個人戦(シニア)

順位	氏名/運動部名	アウト	イン	グロス
1	沼賀勝平(柔道)	38	40	78
2	川倉宏之(テニス)	37	42	79
3	藤崎 裕(柔道)	39	40	79

ソフトボール大会&親睦会  
水泳部/白井 浩一(89期)

平成16年11月20日、高崎高校のグラウンドにて親睦ソフトボール大会が行われた。親睦ソフトボール大会の開催は今回が初めてということである。

当初、実業団の強豪である太陽誘電のエース、庄子麻希さんが来て、バッティングを体験できる予定であったが、全国大会と日程が重なり、アトラクション中止となってしまったことは少々残念であった。試合は、A・B・Cの3チームに分かれ総当たり戦が行われた。試合が進行するにつれて、みな真剣になっていたようだ。自分に関して言えば、

普段の運動不足も手伝い思うように動けず、翌日には全身が筋肉痛になる始末であった。しかし、久しぶりの母校のグラウンド、ソフトボールのゲームにすがすがしい気持ちになれた。

夜は、観音山の錦山荘にて懇親会が行われた。各自風呂で汗を流し、その後宴会場にて酒を酌み交わした。私は初めてこのような会に出席したこともあり、知っている人も少なかったのであるが、昼のソフトボール大会に始まり、夜の懇親会を通じて、年代や社会的な立場に関係なく多くのOBの方々と接することができ、有意義であった。



平成16年度 翠巒体育会収支計算書は15ページに掲載

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願い致します。  
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238  
スィラントイイクイ カケイ ヨシシヨウイチ  
翠巒体育会 会計 吉井章一



**KIZUNA** 島田昌始(80期)

同好会の悪足掻き

ダブルスでペアを組む佐々木と外山は、大会の帰りはいつも、高崎駅のホームで立ち食いそばの早食い競争をする。

「ちょっと待てよ。」

「もう、いいっすか。」

「よし、せーの」

ここでいきなりは食べ始めない。まず、

水でつゆをぬるめる。味が薄まり美味なくなるが、勝つためにはこうするしかない。最初のころは、二人とも熱さを我慢して箸を口に運んでいた。連敗続きだった外山が一計を案じ、水で熱さを減じることをついついた。そのときは外山が勝ったが、その後は二人とも水で薄めている。

二人は、この勝負に勝つために、いつもどおり無性に、ただ、このときは二人とも自分たちの不甲斐なさを内に秘めつつ、必死に箸を動かしていた。

「よし勝った。」

外山が先に丼と箸を置いた。気持ちの機微の差で外山が勝った。

高校総体団体戦、高崎高校は決勝まで進んだものの、佐々木と外山のダブルスは、初戦の沼田高校戦に勝っただけで、その後は今日の決勝戦まで一度も勝てなかった。3年の佐々木はもともと一発屋、当たっているときはめっぽう強いが、当たらなければ自滅するテニスで、諦めは早

いほうだが、無念の気持ちは強かった。一方、2年の外山は、このところ急速に安定感を増し、団体戦のメンバーに食い込んだが、まだ来年がある。

その日の朝、同じホームに停車中の電車の中で、キャプテンの柴田がつぶやいた。

「森田のやつ、今日もまた眠たそうな顔しているぜ。おい、あれで大丈夫かよ。」

「きのうと同じような感じですね。」

外山が電車の窓から向かいのホームを歩いている2年生エース森田を見ながら応じた。

森田は2年生ながらすでに個人戦シングルスで優勝、県下ナンバー1のエースだ。しかし、団体戦に入ってから、調子がおかしい。中学時代から多くの大会を経験していた森田だが、団体戦のプレッシャーを感じていた。常に勝たなくてはならない。勝つことは当然。

ダブルスが勝てないことは分かっているから、自分が負ければチームも負ける。

良い食事・あふれる自然・子どもに応える室内環境  
モンテッソーリ教育実施園  
**城之内保育園**  
山岳部OB(79期) 吉井昭道  
高崎市浜川町249-3 TEL.027-343-1676

小4~中3 補習・高校受験  
**翠ゼミナール**  
みどり 山岳部OB(79期) 吉井昭道  
応援部OB(85期) 木内寛樹  
前橋市総社町総社1520 TEL.027-253-7036  
利根郡月夜野町後閑329 TEL.0278-62-1379

バレーボール部OB(78期)  
税理士 高橋 浩生  
水泳部OB(89期)  
白井 浩一  
高橋浩生税理士事務所  
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10  
TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302

先輩に悪い。そんな気持ちが森田の体を重くしていた。

昨日の準決勝、森田の試合は第2セット途中で中断され、今日、再開される。第1セットは、桐生高校のナンバー1坂井に先取られ、第2セットもゲームカウント1-3でリードされている。柴田は、この中断をよい方に捉えようとしていたが、森田の表情からは、さらにプレッシャーが増しただけのようなのだ。

「おはようございます。」

森田が乗り込んできた。目に精気がない。  
(つづく?)

## KIZUNA 左近晃志 (84期) テニスとの出会い・人との出会い

「硬式やってみないか。」高崎高校に入学して少したったある日、信越線の電車の中で2つ上の先輩から声をかけられた。中学校時代の軟式テニスを続けようかどうしようか迷っていたところだった。次の日、早速硬式テニス部を探した。そう、探したのである。古い武道場の間に入っていくと、ブロックと網で囲まれた1面のテニスコートがあった。そこが「吉野コート」であった。

硬式テニス部への入部を決め、活動を始めた。しかし、1面のテニスコートに対し、人があふれていた。1年生は、ランニングと筋トレ、それが終わるとボール拾いと先輩の相手役。ボールを打っていない先輩は、実に様々なことをしていた。覚えていることはというと、「サッカーのPK」「相撲」「空手やカンフーの型」・・・1年生はその相手役。そうそう審判台の下でひまわりを育てていた人もいた。とってユニークな部活であった。夕方になり、先輩たちが終わりになると、少しであるがコートでボールを打たせてもらった。一番最初に買ったラケットは「カワサキ:オールマン」というウッドのラケットである。夏休みには片品で合宿。たくさんボールが打てるのがうれしかった。と同時に、先輩や同級生と生活をともにすることが楽しかった。

やがて吉野コートの上にプールが作られ、もともとプールのあった場所にテニスコートが作られた。吉野コートにはたくさんの思い出がある。台風で大水が出てコートが冠水し、ドロを剥いだこともあった。

コートがかわったように、ウッドのラケットも「ヨネックス:カーボネックス」、「ドネー:オールウッドビヨンボルグ」を経て、「ケネックス:シルバーエース」というグラフィートのラケットに変わっていった。時代はデカラケと変わっていったのである。

同級生・下級生・先輩に恵まれ、高校3年生の時にダブルスで関東大会・インターハイに出場できた。遠い秋田まで顧問の先生の車に乗っていったこと。その車の中で流れていた松山千春の「銀の雨」も頭から離れない。高校時代に使っていたラケットも、いまでも保管してある。私のテニスのルーツはやはり高々テニス部だからだ。

高校を卒業してからも、大学・社会人とテニスが続いている。つい最近、右の手首が「手根管症候群」となってしまう、手術を受けた。ギブスもとれて日常生活もとりにあえずふつうに行っている。ただ、ラケットを握ってふると痛みがあり、本格的にテニスをやり始めるのは少し先になりそうだ。同級生・下級生・先輩といっしょに行う夏のテニスも企画されている。それまでにテニスがまともにもできることを目標にリハビリに励みたい。

私にとって、テニスとの出会いは人との出会いである。いまでも、これからも。

## KIZUNA 本間崇郎 (91期) 高々テニス部の思い出

僕は31歳で、そのとき高崎行きの快速アーバン号に揺られていた。流行りの小説家風にカッコつけると、こんな書き出しが適当だろうか。当時の自分にメールを書くとしたら。電車で揺られているのは、年に数回、実家の家族に会うために、高々テニス部時代の旧友に会うためである。いまでも高々テニス部時代の旧友と続いているのは、一言でいえば、高々テニス部の自由な風土が繋がりを育ててくれたからだろうか。

Subject:Re(1)高々テニス部の思い出

Date:1989.11.9

From:Takao1989@takasaki.gu.jp

To:Takao2005@shibuya.tk.jp

高々は自由でいいよ。テニス部の練習も自由にやらせてもらえるし。この前試合

に出たら、ベッカーとかエドバーグとかいっばいいてさあ。でもそういう奴は結局見かけただけなんだけどね。うちの高校もそうだけど、みんな自由気ままに、ウインブルドン見て真似してるんさね。

Subject:Re(2)高々テニス部の思い出

Date:2005.5.5

From:Takao2005@shibuya.tk.jp

To:Takao1991@takasaki.gu.jp

快速アーバン号に揺られているとき、高崎に近づくにつれ、窓から見える木々の緑が、生き活きと濃くなっていくのと同時に、僕のこころも活力を取り戻していく。僕が高々テニス部に入部したのは平成元年、世界でも天安門事件が起き、ベルリンの壁が崩壊した年。世界史の先生はそんな歴史的事件と同じ時間を共有できたことに、えらく感激していた。僕はあまり実感を得られなかったのをよく覚えているが、僕達の高々テニス部は、そんな歴史的事件とは関係なく、果てしないほど自由な雰囲気にも包まれていた。テニスの戦績はどうあれ。

Subject:Re(3)高々テニス部の思い出

Date:1991.12.21

From:Takao1991@takasaki.gu.jp

To:Takao2005@shibuya.tk.jp

そういえば、翠巒祭みた?レンドル君とアガシ君が活躍したよ。アガシ君は直前で壊れちゃったけど、レンドル君は女子高生にも大うけだったんさ。バッチングマシンのことね。年に1度のお楽しみだよ。逆に定期戦は燃えるよね。なんでここまで火花を散らすのかっていうくらい。これも自由な男子高ならではののかな。

Subject:Re(4)高々テニス部の思い出

Date:2005.5.5

From:Takao2005@shibuya.tk.jp

To:Takao1992@takasaki.gu.jp

「『青春』とはこころの若さをいうのである」と松下幸之助が言っているが、僕が高々テニス部で得たものは、自由な風土のなかで育んだ、そんな『青春』ともいえるようなこころのもち方と、それを共有した級友との繋がりがだろうか。快速アーバン号のなかで、いつも僕のこころが帰るのは、そんな楽観的な、自由な高々テニス部時代であり、これからもずっとそうなのだろう。

### 高崎高校 ラグビー部 OB会

会長 関根 正志 (70期)

ラグビー部OB (59期)

### 日本マシチック工業株式会社

代表取締役 木村 洋

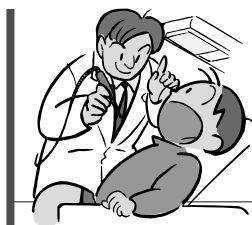
高崎市中居町4-4-1 TEL 027-353-3551

ラグビー部OB (74期)

### 須永建設株式会社

専務取締役  
1級建築士 須永信夫

高崎市倉賀野町52番地



## 中高年者のスポーツ参加のための メデイカルチェック VOL.6



谷歯科医院

院長  
谷 一行  
陸上競技部 (70期)

### はじめに

毎年、中学校の歯科健康診断を4月に行っていますが、最近の中学生の口の中は、半数以上の生徒はむし歯や歯周病が全くなく健全な状態ですが、一部の生徒に歯列不正と歯肉炎、多数歯のむし歯(一人で何本ものむし歯がある)と、両極端化している様に感じます。

口の中が汚れている生徒と、きれいになっている生徒との違いは、どうやら歯磨きだけではなさそうです。もちろんブラッシングは大切で、特に歯周病のある方は極端に言えば一回のブラッシングに30分かかっても時間をかけてもよいといわれています。

以前の歯科健康診断のときと比べ最近では、午後の健診時に汚れていて診断に差し障りがあるということが少なくなってきた様な気がします。生徒に聞いてみると、昼休みにブラッシングしている生徒はごく少数で、健診の日だからといって特にその日だけブラッシングをするということではなさそうです。どうも給食の効果で、栄養バランス・カロリーだけでなく食べ物の性状が歯によいようです。最初に口の中の状態が両極端化していると書きましたが、その原因は、日頃の食生活のようです。そこで今回は「食」についてと翠巒体育会報ですので「歯の外傷」について簡単に述べたいと思います。

### 歯によい食事とは

最近の料理はやわらかい食事が多くなっています。ご存知かもしれませんが「オカアサンハヤスメ」とはオムレツ、カレー、アイスクリーム、サンドイッチ、ハンバーグ、ヤキソバ、スパゲッティ、メダマヤキなどの子供の大好きな料理です。これらの料理はすべて軟食で、噛まない代表といわれるわけですが料理に工夫して噛みごたえのあるようにしたらよいと思います。

まず「切り方」ですが、食べるというこ

とは、口の中で食べ物を噛んで小さくしていく過程で、食物の味や舌ざわりを知るのです。あまり小さく切ってしまうと、噛む回数を減らすばかりか、その食べ物の本来の味覚も少なくしてしまいます。したがって、食べ物の本来持っている味覚を楽しむ、噛む回数を増やすためにも、ちょっと大き目に切ることが大切です。

〔調理形態〕では水分がポイントとなります。一般に水気の多いものはどごしがよく、フライや焼き物のように水分の少ないものは飲み込みづらくなります。噛むことの目的に、食べ物を唾液と混ぜ合わせて飲み込みやすくすることがあります。したがって、水分の多い料理ばかりでなく、水分の少ない料理と交互にバランスよく摂ることも大切です。

また〔食材料〕では噛みごたえの大きい海藻、きのこ類や肉類など繊維質のものを摂りこむということ。これらは繊維を噛み切らないと飲み込めないで、よく噛むことになります。

### よく噛むことで多くの機能が活性化します

私たちの身体はどんなに栄養を与えても、運動機能が不十分だと正常には発達しません。口や顎、そして顔面の筋肉や頭蓋骨全体などが正常な大きさに発育、成長するためには、よく噛むという運動が欠かせないのです。噛むということは、歯を支える歯周組織だけでなく、顔全体に効果的な運動刺激として伝わり、それらの細胞の活発な代謝を促進するのです。

また、食べ物を噛みしめることは、唾液を分泌する機能、食べ物を正常に摂取する機能、ならびに消化・吸収機能などが円滑に連動するという、正しい生命維持の基本にもなるわけです。つまり、よく噛むことは、単に食べ物を胃に詰め込むだけでなく、全身のさまざまな機能を活性化させる、重要な役割を担っているわけです。

### 歯に外傷をうけたら



#### 1. 歯が抜け落ちてしまったら(脱落)

まずは、とにかく歯を探しましょう。歯は元の位置に植え直すことができます。歯を見つけ出したら、歯の頭の部分を持って、歯根部を水道水で洗います。そして、元の位置に戻せたら自分で戻します。無理ならば牛乳に入れるか、歯と頬の間にに入れて、急いで歯科医院へ行ってください。歯科医院では歯を植え直して固定をします。早ければ早いほど、歯の保存状態がよいほど、元どおりに直る可能性が高いのです。

#### 2. 歯が欠けてしまったら(破折)

まずは歯のかけらを探してください。見つかったら、それを持ってすぐに歯科医院へ行きましょう。歯の神経がでていなければ、かけらを接着する材料で歯にくっつけることができます。歯の神経がでてしまっていれば、ふたをしてからかけらをくっつけます。もしかけらが見つからなくても、歯の色をした樹脂で歯の形を作ることもできます。

#### 2. 歯がぐらぐらになったら(脱臼)

歯がぐらぐらになっているだけで、歯が折れたりしていなければ、しばらく固定しておくだけで直ります。固定はワイヤーとプラスチックのようなものです。

#### 終わりに

健全な身体に健全な精神が宿ると言われているように、健康な生活を送るためにはまずは口の正しい管理が大切です。年に一度の定期健診をお勧めして終わりの言葉と致します。

秋山土地開発株式会社

代表取締役 秋山 賢治  
(応援部OB会 会長 74期)

藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

転職応援サイト  
**ecareer**

<http://www.ecareer.ne.jp/>

求人情報掲載のお申込・お問い合わせは↓(81期: 応援・藤井)  
株式会社スパン TEL 027・310・2080

**RISE**® ライズ総合保険  
損害保険・生命保険はお任せ下さい!

富田 和弘  
(応援部 85期)

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



# OB 各運動部OB会の近況報告



## ソフトテニス部

原田 佳幸  
(78期)

平成16年度のソフトテニス部のOB会は、8月15日に開催しました。昼は、恒例行事のOB対現役の対抗戦、夜は、長谷川ホテルでの総会及び懇親会を行いました。OBの参加は約40人で、現役相手にひねもすコートに親しんだ時代を思い出しながら、今の体力のギャップに戸惑いを感じつつ爽やかな汗を流しました。夜は近況報告を交え、昔話に花を咲かせました。こんな楽しい会が毎年できるのは、現役諸君の活躍と面倒をみてくださっている顧問の先生のお蔭だと思っています。

昨年度は、3ペアがインハイに出場しました。今年度は、井坂先生のもと、団体・個人の優勝をねらっています。OBも更なるバックアップをしていきたいと思ひます。



## 卓球部

堤 康高  
(71期)

卓球部OB会の年間行事のなかで、多数のOBが参加するのが、10月のゴルフコンペと1月の新年会になっています。

現在もプレイヤーとして卓球を楽しんでいるOBは、高見沢先輩のご好意によりマツヤの研修所で、月一回の卓球に興じています。この面々を中心として、現役の夏合宿と新年会に合わせて、現役との交流試合を行っています。更に、競技志向のOBは、61期OBの針谷先生を中心として運営されている「群馬県卓球ベテラン会」などの大会に参加しています。高校生の大会は負ければ終わりですが、ベテランの大会はリーグトーナメント方式なので、勝てなくても数試合は楽しめます。

年間行事の連絡は、この会報の発行に合わせて全OBに郵送していますが、住所録の関係で一部のOBには送付できていません。特に、94期～98期のOBの情報がありませんので、他部OBの方でこの間の卓球部OBをご存知の方に一報いただければ幸いです。



## ラグビー部

上羽 正弘  
(72期)

ラグビー部OB会は、平成十七年一月八日高崎ビューホテルにおいて新年総会を開催。昨年度OB会活動および決算報告ならびに今年度事業予定が発表され、すべて承認された。また、豊岡グラウンドでは、総会に先立ち恒例となっている現役対OB戦が行われ、白熱したゲームが繰り広げられた。三月一日の卒業式には、十一名の三年生部員に対して関根OB会長よりOBとなった証として鷹をあしらった錦糸のエンブレムを贈呈し、卒業を祝った。

今年度のラグビー部OB会活動としては、創部六十年にあたり、記念事業を行うことが最大イベントであり、その他には年二回の「OB会報」の発行、年会費の徴収ならびに現役強化策として、

例年八月に菅平で行われている夏合宿に関根OB会長等が激励訪問し、県総体緒戦で敗れた雪辱を果たすべく、会長みずから熱血指導を行う予定である。



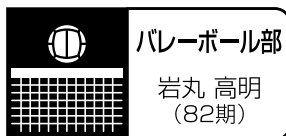
## バスケットボール部

橋爪 良真  
(75期)

平成16年度の活動自体は、OB総会、現役との新年交流会、現役送別会への参加など例年と変わりのないものでした。しかし慶弔関連にそれぞれ大きなできごとがありました。

まずお祝いごとですが、現在群馬県バスケットボール協会会長である鈴木武文先輩(51期)が文部科学大臣賞を受賞されました。昨年12月11日に高崎神社ホワイトインにてバスケット関係諸団体合同で祝賀会が開催されました。わがOB会も発起人の一人として林進一会長(72期)が名を連ね、鈴木先輩に花束を贈呈いたしました。鈴木先輩は林さんが現役当時の監督で、その年はインターハイに出場しております。

また悲しいお知らせは、この号にて追悼特集していただいておりますが、30年間高々でバスケット部の顧問をされた「ポテ」先生こと清水貞保先生(30期)が去る3月20日にお亡くなりになりました。昭和20年代なかば清水先生のご指導のもと、さきほどの鈴木先輩方が高々バスケット部第1期黄金時代を築きました。先生の御冥福をお祈り申し上げます。



## バレーボール部

岩丸 高明  
(82期)

今年度がスタートして、まずは翠巒クラブがクラブカップ大会群馬県予選会に出場しました。昨年チームが若返り活躍が期待されていましたが、若さだけでは練習不足は補えず、残念ながら結成以来始めて初戦敗退という結果に終わりました。県外の学生が多くなかなか集まれないのが、今クラブの弱点になっているのですが、高校を卒業してからも『スイラン』の名を背負い戦う彼等の姿に、将来のOB会活動がより活発になるだろうと感じました。これからもOB会でバックアップしていきたいと思ひます。

その他、正月3日には全国大会予選の壮行をかねて、現役生達と親善試合を行いました。バレーボールから遠ざかってしまっているOB達も久しぶりに汗を流し、同志の結束を固めました。

来年はもっと多くのOBに集まってもらい親睦会も開催したいと思ひます。



## 柔道部

鳥居 吉二  
(73期 顧問)

先にぐんま武道館で行われた関口杯支部対抗柔道大会にて高高柔道部OBが選手や監督として活躍している姿が多く見受けられました。荻野佑介・95期27歳(群馬支部選手)、清家 剛・92期31歳(高崎支部選手)、綱島 毅・92期31歳(北群馬・渋川支部選手)、黒崎高行・77期45歳(群馬支部監督)の諸氏です。

生涯スポーツが叫ばれる中、柔道を身をもって行い大会まで出場する姿は立派です。用具を介する競技に比べて、直接ぶつかり合う柔道は激しくもあり、工夫と節制が必要ですが、激しく

頑張れ 高高柔道部

目指せ日本一 励め 文武両道

高崎高校  
柔道部 OB会

会長 関口 茂樹(63期)

戦い汗を流している姿には感動いたしました。

1月3日の稽古始めには、現役数を超えるOBが参加し合同練習に現役対抗試合に汗を流しました。今後も、若いも若きも多数の参加を期待します。その後、総会・懇親会がお元気な今井孝造先生ご出席のもと、盛会に行われました。



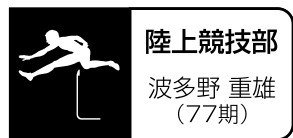
**サッカー部**

清水 清志  
(81期)

今年度より現役サッカー部の顧問が年度末人事の関係で、交代することになりました。昨年度まで15年間監督として指導されました坂田和文先生が4月より桐生高校へ転任移動となり、新しく笠原恵太先生を迎えることとなりました。熱心で指導力のある元Jリーガー監督ということで、期待も広がります。

OB会の活動としては、群馬40雀リーグに参加する翠龍クラブ(前高OBとの合同チーム)、高崎市民リーグに参加するミドル翠巒、群馬リーグ2部に参加する翠巒クラブに各世代のOBが参加します。よい成績を期待しましょう。

さらに、今年度は、卒業生が21名で、全サッカー部卒業生が617名となりました。また、昨年までOB会長としてご苦労いただいた第3代阿久沢茂会長に代わり、第4代会長として74期清野哲雄氏が就任することとなりました。皆様で協力し合い、現役・OB会ともに発展していきますようがんばっていきましょう。



**陸上競技部**

波多野 重雄  
(77期)

昨年度のこの報告の中で、後藤会長留任としましたが、その後、やはり任期を守るのが原則と、70期の谷一行さんが新会長に就任されました。

また、長きにわたり群馬県の陸上指導者のリーダーとして活躍された高橋賢作先生が、この3月で教職をご勇退されました。高橋先生はこれまでオリンピック選手を含む何人もの日本チャンピオンを育てておられ、審判員としても全国クラスの大会の審判長を務めてこられました。その高橋先生が最後の勤務校としてわが高々を選んでもくださったことは、現役、OB一同にとっても、たいへん名誉なことでありました。3月下旬、谷会長から記念品を贈呈させていただきました。高橋先生、本当にありがとうございました。代わって、本年度、高崎経済大学附属高校から田島正徳先生が新顧問として着任されました。以前にも増してOB会として支援を続けていきたいと思ひます。



**剣道部**

瀧野 修司  
(86期)

恒例の新年稽古会から始まるOB会。今年も幅広い年代の先輩方に参加していただき、現役生と竹刀を交えました。春と夏の合宿にもOBとして多くの先輩方が夜の稽古に出向き、現役生を指導・激励しています。新年稽古会のあとの新年会においても、先輩方をはじめ歴代顧問の先生にも参加をしていただいて旧交を温めています。

OB会員相互の交流を図ることとして、50代以上の先輩方においては、自作の陶芸や絵画を持ち寄って高崎シティギャラリーで

展覧会を開催しました。このような趣味を通じた親睦を行う取り組みも始められています。

また、現役生とOB会とのつながりを深めることとして、新入部員やその保護者との親睦を深める会を開催したいとも考えています。OBの顔や人柄に稽古以外でも触れてもらい、卒業後もOB会とのつながりをもってほしいと願っています。



**硬式野球部**

吉井 剛  
(80期)

昨年の夏の大会は、久々のベスト4進出で、OB会としても、応援に力が入り結束の固まった年でもありました。やはり、現役諸君

の活躍は、OB会をも活気づけるものであると実感しました。そこで今年は、例年のOB総会、選手の激励会、翠巒体育ゴルフコンペ、前高とのOB定期戦の他、さらなるOB会の発展のために、まだまだ具体性はないのですが、OB同士の交流を図るOB野球大会の開催も検討しております。こうした様々な活動を通して、OB会の結束を固め、伝統ある高々野球部の甲子園出場を全力をあげて支援していきたいと考えております。OB一同、甲子園で今一度「翠巒」を声高らかに歌うことを夢見ております。



**硬式テニス部**

浜名 和也  
(84期)

硬式テニス部OB会は、5年前の83期と84期の夜の飲み会をかけた対抗戦にはじまり、ようやく今年で正式発足2年になります。

昨年の総会では、昼間は上並榎テニスコートをお借りして現役部員との合同テニス大会、夜は懇親会と充実した時を送れたと思います。特に前高との定期戦の話題は盛り上がったものの一つだと記憶しています。現役の諸君、くれぐれも前高との定期戦で負けることのないように。酒の肴にされてしまうこと間違いなしだから。

本年度は8月13日の12:00~17:00に上並榎テニスコートでテニス大会を開きます。もちろん夜の懇親会も開催する予定です。たくさんの参加を期待しております。また、現役諸君の参加も歓迎しますので、OBとの顔合わせを含めてコートに遊びに来ませんか。また、顧問の中村先生にはいろいろ御足労をかけると思いますがこれからもよろしくお願いいたします。

尚、本年度をもって83・84期のテニス部OB会幹事期が終了いたします。次年度から2年間85・86期の幹事期になりますのでよろしくお願いいたします。



**応援部**

富田 和弘  
(85期)

押忍 秋山賢治会長(74期)をはじめとする応援部OB会は毎年1月に新年総会、翠巒祭前の現役生合宿や夏の甲子園予選への激励援助、ゴルフコンペなどを主な活動としております。また、新年全体同窓会や翠巒体育会等の場においても、校歌や応援歌「翠巒」のリーダーもさせていただいております。

昨年末OBの早川弘先輩(57期)がご逝去されました。早川先輩の明るく気さくで思いやりのある人柄はOB会の中に今後も生き続けていく事と思ひます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

**真木会 真木病院** 癌の早期診断のため、2006年5月ペット導入  
高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

真木 俊次(剣道部 55期) 永尾 俊弘(水泳部 70期) 真木 武志(バスケット部 72期) 清水 直樹(応援部 89期)

今後の課題としまして、若手OBのOB会活動への参加があります。86期以降の若手に少しでも活動してもらえよう努力してまいりたいと思います。

また、応援団旗のポール購入に際しましては、翠巒体育会より多額の寄付をいただき、ありがとうございました。 押忍



近年の現役山岳部は関東大会や国体などで目覚ましい成績を残しており、50年を超える山岳部の歴史の中でも類を見ないほどの活躍ぶりです。今後とも頑張ってもらいたいと願うと共に応援にも力を入れていきたいと考えております。

一方OB会としては長年途絶えていた総会を2002年7月に開催し、2004年4月にはゴルフコンペを開催するなどOB会という名にふさわしい活動をようやく再開し始めたところです。今後の課題は定期的なOB会活動の継続が目標となります。

なお、事務局の責任者が松本基志先輩(77期)から長井友之先輩(75期)に引き継がれる予定です。久しぶりの総会開催に向けて尽力を惜しまず努力してくれた松本先輩に感謝すると共に、長井先輩の活躍を心より期待しております。



今年度は、水泳部OBのマスターズ大会等の参加状況は、昨年より低調でした。僅かに私と白井(89期)が、県都市対抗水泳大会に参加し高崎市の総合優勝に寄与した程度であった。2005年度は是非多くの大会に参加し好成績をおさめ、現役諸君への範になりたいと思っています。水泳部OBの指導者としての活動は特筆すべきものがありました。アテネオリンピックの代表は惜しくも逃しましたが、小茂田 猛(66期)の指導した群馬スイミングスクールの2選手が、本年度のモンリオール世界水泳選手権大会の日本代表を勝ち取りました。次の北京オリンピックをめざし、水泳部OB一同は、同氏のさらに一層の活躍を期待しております。

## 《高崎高校運動部の活動報告》

# 先輩がんばってます



### 陸上競技部

伊丹 達生

陸上部は昨年度まで監督としてお世話になった高橋賢作先生が定年退職となり、代りに高崎経済大学附属高校から田島正徳先生を迎え、さらに新任の先生として清光竜児先生が顧問に加わりました。先生が換わったことで、先生・部員共にとまどう面もありましたが、日々練習する中でそのような事はなくなり、今は新しい二人の先生の指導方法を理解し、部員一人一人、またチームとして全国制覇という目標に向かって一歩一歩進んでいます。目標達成のため厳しい練習を何度もこなしてきましたが、その中でチームの結束力も強まりいよいよこれから勝負の時期を迎えようとしています。顧問の先生方、OBの方々の支えに感謝し、期待に応える結果が残せるよう頑張っていきます。



### ソフトテニス部

清水 健一

我々ソフトテニス部は昨年度に高崎高等学校ソフトテニス部史上初めての個人戦3ペアインターハイ出場を果たしましたが、団体戦では出場できませんでした。なので今年はインターハイ団体で出場し、全国制覇できるチームを目指して日々練習に励んでいます。

現在3年17人、2年14人、1年14人の計45人という3コートに収まりきらない人数ですが、一人一人が工夫をし、目標を持って、日々充実した練習をしています。成績では新人戦ベスト4に1本、ベスト8に1本、ベスト16に1本、団体準優勝というもの足りない結果ですが高崎高校ソフトテニス部全員が一致団結して全力で勝ちにいきたいと思います。皆様の御声援よろしくお願ひします。



### ラグビー部

外処 郷平

高々ラグビー部は船戸先生をはじめとする諸先生方のご指導のもと、花園へ向け日々練習に励んでいます。新人戦ではベスト4に進むことができませんという結果に終わりました。これから行われる総体、花園予選では優勝を目標にがんばりたいと思います。先生方に様々な新しいことを教わりながらも、高々ラグビー部の良き伝統欠くことなく、最高のチームを部員みんなで作っていきたくです。顧問の先生方、OBの方々、保護者会をはじめとして、応援していただいている方々に感謝し、それに応えられるよう頑張っていきます。



## 翠巒体育会 ホームページ

<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>

翠巒体育会用にメールアドレスをこの度取得しました。翠巒体育会の活動にご意見・ご要望などがありましたらお気軽にご連絡ください。

E-mail [suiran-taiikukai@apost.plala.or.jp](mailto:suiran-taiikukai@apost.plala.or.jp)



# 現役よ! 行こう五度目の全国大会

## 頑張れ! 翠巒サッカークラブ昇格目指せ

高崎高校  
サッカー部 OB会  
会長 清野 哲雄(74期)



### 剣道部

黛 章弘

我々剣道部は、顧問の戸塚先生と渡辺先生の指導の下、3年生5名、2年生5名の計11名で少ないながらも日々稽古に励んでいます。

新チーム発足時は、個人一人一人の実力が未熟であり様々な大会や練習試合で悔しい思いをしてきました。しかし、このチームは練習を休まず真剣に取り組み着実に成長しています。また、合宿の際、多くのOBの先輩方に指導をして頂ける恵まれた環境にあり、県大会上位入賞も十分成し遂げられると思います。3年生にとっては、このチームでの活動も残り2ヶ月となりました。我々は長い伝統を誇る高崎高校剣道部の名を背負って剣道をしている自覚を持ち、「不撓不屈」の精神をもちこれからの稽古に励んでいきたいと思っています。



### バスケットボール部

提橋 尚史

私達バスケットボール部は、戮力協心をモットーに、インターハイ出場を目標に日々練習に励んでいます。毎日練習を見てくださる長竹先生をはじめ諸先生方の指導のおかげで、常に自分達自身の成長のために全力を出せる現在の高々バスケットボール部の環境は非常に恵まれています。この環境の中で、残された少ない時間を有効に使い、チーム力の向上につなげたいと思います。そして必ずや群馬県制覇を成し遂げたいと思います。応援よろしくお祈りします。



### サッカー部

矢島 宏輔

現在サッカー部は3年生17名、2年生21名、1年生23名の計61名で構成され、15年間高々サッカー部をご指導して下さった坂田先生の後を引き継ぎ、今年赴任して来られた笠原先生をはじめとする諸先生方の指導のもと、また保護者会やOB会などに支えられて日々練習に励んでいます。ここ数年県ベスト8の壁を惜しくも破れぬ状態が続いています。今年こそはその壁を打ち破るべく、チーム内でお互いに競い合い自らの向上と共に「強い高々サッカー部」の復活をはかっています。常に一つの目標として群馬県制覇が掲げられており、決して手の届かない距離にあるわけではありません。日々精進し、今年こそ高々サッカー部で群馬県制覇を成し遂げたいと思います。



### 水泳部

佐俣 友規

我々水泳部は、個人種目とリレーでの関東大会出場目指し、3年8人、2年2人の計10人で毎日練習をしています。

今年は特に、個々の能力を向上させるために、冬の間の筋力トレーニングを重点的に行ってきました。また、週に一度市民プールに通い、練習にはげんできました。その成果が問われるのは本格的にシーズンとなるこれからの季節ですが、三年間の練習の全てを出し切って関東予選や高校総体に挑戦したいと思っています。

部員は10人と少ないですが、これまでやってきたことを発揮できれば必ず良い結果を残せると思います。これからも応援よろしくお祈りいたします。



### バレーボール部

高井 恵介

我々バレーボール部は塚本先生、宮川先生、茂木先生の指導の下、限られた時間の中で部員がそれぞれ目的意識を持ち、工夫しながら日々練習に励んでいます。我々の目標は県大会優勝です。今年度はまだその目標を達成していないので、次の県総体では優勝したいと思っています。

これからの残り少ない時間の中では、日々の練習の質というものが今まで以上に重要になってくるので、一つ一つのプレーを大事にして練習していきたいと思っています。そして最後まであきらめないで必ず優勝します。



### 柔道部

天田 俊祐

私達柔道部は3年2人、2年5人、1年2人という計9人の少ない人数で日々練習しています。私達が常に心掛けていることは、何事も工夫することです。

少ない人数、短い練習時間の中で最善の結果を出すために工夫することは不可欠なのです。そして、苦しい時や辛い時は前へ踏み出さず、後戻りしては自分にも相手にも勝つことができません。これから関東大会、インターハイ県予選という大きな大会が続きます。自分達のすべき事を見失わずに、試合までの残された時間の中で「工夫」と「前に出る気持ち」を心掛け、鳥居先生をはじめ諸先生方の指導のもと、高崎高校の名をとどろかせ、インターハイ出場を目指します。これからも応援よろしくお祈りします。



### 卓球部

坂本 啓介

卓球部は去年約20名が入部し、大変にぎやかになりました。部員が増えたことでレギュラー争いも激しくなり、部に活気が溢れています。しかし卓球台と場所が限られているため、満足にボールを打てないこともしばしばありました。その状況を打開するべく、部員全員が「効率の良い練習」を心掛け、練習に励んできました。その成果は、練習試合や大会での一戦一戦の中で確実に示されていると思います。卓球は個人の戦いですが、たった一人で強くなることなどできません。必ず共に高め合う仲間が必要となります。高々卓球部は「チームの強さ」を目指し、常に「上」を視野に入れて日々努力していきます。



### 硬式野球部

佐々木 渉

我々硬式野球部は、大須賀先生、毒島先生の指導の下、甲子園出場を目指し、日々練習に励んでいます。

現在チームは勝つことの難しさに直面し、悪戦苦闘しています。しかし、3年生を中心とし、このチームで活動する残り2ヶ月をなんとか勝利へ、そして甲子園へ続くものにしようとモチベーションを高めています。新入生の入部により、部員の数も60名近くなり、グラウンドが小さく感じられるようになりました。しかし、部の中では「甲子園へ行く」という気持ちがまだ一つになっていないと思うので、チーム内での結束を固め、最後の舞台に向かって日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。結果はどうあれ、後悔しない野球をしたいと思うので、応援よろしくお祈りします。

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、  
趣味のお集まり等に...

創 意 魚 仲

取締役社長 羽鳥修司(卓球部・63期)  
高崎市九蔵町17 TEL.027-322-2428内  
FAX 027-326-7070

剣道部OB(56期)

高崎剣道教室(高崎市武道館内)

室長 笠井秀昭

高崎市上並榎町5-5 TEL.027-362-1019

剣道部OB(55期)

高々剣友会会長 横田 茂

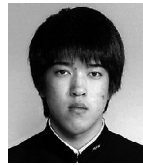
高崎市上並榎町567-28 TEL.027-323-2432



## 弓道部

鈴木 陽

我々弓道部は、3年生10人、2年生12人を主力として、間々田先生、天野先生の下、県大会勝利に向けて練習に励んでいます。3年生のほとんどが総体で引退するので、現在の課題は2年生と1年生の力を高めることです。我々の練習場所は主に浜川の市民弓道場であり、通う時間など問題を抱えています。それでも部員のほとんどは毎日練習に出て、自分の力を最大限発揮できるようにがんばっています。弓道を始めてまだ短いので結果を出すのは難しいですが、仲間と励まし合い、競い合って充実した部活環境をつくり、更に自分を成長させていきたいと思っています。これからもよろしくお祈いします。



## 空手道部

林 禎彰

我々空手道部は3年生8名、2年生9名の計17名で日々活動しています。平日の放課後4時から6時までの2時間練習を行い、その後各自自主練を行っています。試合が近づくとも週6日制の練習を行っています。練習量では他校に劣る部分がありますが、基本を中心とし、短時間でも質の高い練習をし、コーチはいませんが、自らに厳しく、そして、各々がその時に合ったよい練習を考えながら練習しています。団体・個人形、組手ともに全国大会出場を目標とし、お互いに切磋琢磨して、空手部全体が丸となって取り組もうと思います。応援よろしくお祈いします。



## 硬式テニス部

石黒 純

我々硬式テニス部は人数に対しコートは少ないですが、短期集中の効率のいい練習を目標として活動しています。結果、県内の練習量の多い学校とも対等、またはそれ以上に戦うことができ、昨年の新人戦では、団体で第3位と関東大会まであと一步のところまで来ることが出来ました。また、個人戦においても県大会出場者数が県内一と、とても層の厚いチームになりました。しかし、部員のほとんどが高校からテニスを始めたこともあり、個人戦でベスト4に入れず、悔しい思いをしています。今後は、より高い目標を掲げ、練習に励み、名門としての高崎高校の名が、県外にも届くように精進していきたいと思っています。



## 軟式野球部

鈴木 一生

我々軟式野球部は3年生18名、2年生21名、1年生11名の計50名により日々の練習に励んでいます。練習は週3日と少ないながらも部員一人一人が真剣に取りくんでいます。そして、軟式野球ならではの楽しさや明るさもあり、とても雰囲気の良い野球をしています。しかし、今年度のチームはまだ公式戦を含めて勝ったことがありません。昨年度の強かった先輩たちを見習って一勝を目標に精進していきたいと思っています。これから今までに培った技術と先輩方から受け継いだ魂で高々の名を全国に轟かせたいと思っています。応援よろしくお祈いします。



## 山岳部

高橋 慎太郎

私達山岳部は3年生2名、2年生4名で森泉先生の指導の下で日々活動しています。現在私達は県総体に向けて研究活動と体力の強化をしています。研究活動では今年度の県総体の会場である榛名山についての資料を集めて研究をしています。週末には高崎高校の裏にある観音山を使って歩行訓練を行っています。また、その他にも天気図などの山で使う知識の強化も怠ることはできません。今年度の目標は関東大会へ出場することですが、ただ勝つことのみを目標にするのではなく山を楽しみ、そして安全な登山ができるようにしたいと思っています。



## バドミントン部

大久保 貴幸

我々バドミントン部はコート数が少ない中で、練習の時間帯をずらす等の工夫をして、活動しています。皆そのような変則的な練習時間の中でも積極的に練習に参加し、団体戦ベスト8以上を目標に日々技術の向上に努めています。しかし、我が部にはバドミントン経験者がほとんどいなく、バドミントン経験者の多い東毛地区と技術面では差があります。そのため、高校総体等の大会では、圧倒されてしまっているのが現状です。この技術面での差というものはそう簡単に埋まりませんが、精神面・作戦面でそれを補えば、必ず勝機は見えてきて、今まで先輩達が目指してきたベスト8に到達できると思います。これからも、より高みを目指し、頑張っていきたいと思っています。



## スキー部

高木 紀彰

私達スキー部は、現在3年生1名で活動しています。部員不足で廃部の危機に追い込まれていましたが、今年度は新1年生の入部が予定されており、今後の活躍が期待されます。スキーはシーズンスポーツであり、活動時期や場所も限定されています。しかし、シーズン外の期間の練習こそがスキーの技能を上げるためには重要であると考えています。私達が行っているのは競技スキーであり、純粋に個人のタイムを競うものです。選手のレベルは様々ですので、練習は個々の能力に合わせて行っています。また昨年度は50数年ぶりに1名がインターハイに出場しました。スキーは自分との戦いでもありますが部員同士の団結を図ることも大切です。個々の目標に向けて、これからも精進していきたいと思っています。



## 応援部

橋本 裕樹

我々応援部は、今年で五十四代を数え、高崎高校の伝統と誇りを半世紀以上に渡って受け継いで参りました。我々は高崎高校の勝利の為に団結をし、平素から厳しい修練を積み、心の底から母校を愛し、規律ある活動を行っております。そして種々の部活動応援で選手を支え、学校行事では生徒の中心となってひたすら高崎高校の更なる発展の為に邁進しております。延いては時代の流れに飲み込まれることなく、また時代に靡くことなく常に我々らしく尽力していく次第であります。今後とも、より一層の御指導、御鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。伝統よ更に栄えあれ。

剣道部OB(56期) 洋画 日本画 版画  
**ギャラリー イシザワ**  
**石澤 毅**  
 高崎市大橋町11番地 TEL.027-325-9203

紳士服の専門店  
**マツヤ**  
 代表取締役 高見澤 隆(卓球部・61期)

**株式会社大陸不動産**  
 代表取締役 **山口 正敏**  
 (卓球部・58期)  
 高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

平成16年度  
運動部活動状況

陸上競技部

関東大会  
5000mW長幡 樹 1位  
インターハイ  
5000mW長幡 樹 失格  
国体  
5000mW長幡 樹 失格  
新人大会  
5000m 橋本 隼 3位  
やり投 伊丹達生 3位  
円盤投 田村 司 5位  
(上記3名は関東選抜新人出場)  
関東選抜新人  
5000m 橋本 隼 3位  
県選手権大会  
800m 星野慎也 4位  
1500m 小杉 健 4位  
1500m 星野慎也 5位  
1500m 狩野哲也 7位  
5000mW長幡 樹 1位  
5000mW山口裕毅 8位  
(上記6名は関東選手権大会出場)  
関東選手権大会  
5000mW長幡 樹 2位  
群馬県高校駅伝 (関東駅伝出場)  
県新人駅伝 3位

バスケットボール部

関東高等学校選手権大会  
1回戦 76-95 法政大第二  
インターハイ県予選  
1回戦 101-20 板倉  
2回戦 98-57 前南  
3回戦 89-36 農二  
準々決 118-70 前西  
準決勝 90-92 樹徳 3位  
選抜優勝大会県二次予選  
準決勝 73-79 高商 ベスト8  
西毛新人大会  
2回戦 99-21 藤北  
3回戦 88-27 高経附  
準決勝 77-48 農二  
決勝 58-96 高商 2位  
新人大会  
1回戦 150-6 常盤  
2回戦 79-57 吉井  
3回戦 81-52 館林  
4回戦 72-67 新島  
決勝リーグ 67-81 高商  
68-70 樹徳  
47-80 育英 4位

バレーボール部

関東大会  
1回戦 0-2 勝田工業(茨城)  
インターハイ県予選  
4回戦 2-0 前高

準々決 2-0 太東  
準決勝 2-1 桐商  
決勝 0-2 伊東 2位  
西毛地区大会  
2回戦 2-0 高工  
準決勝 2-0 農二  
決勝 2-0 中央 優勝  
国体  
1回戦 1-2 岡山 (福田俊介・井田剛群馬選抜として出場)  
新人大会  
2回戦 2-0 関学  
3回戦 2-0 農二  
準々決 2-1 高北  
準決勝 2-1 太東  
決勝 0-2 伊東 2位  
全国選抜県予選  
4回戦 2-0 前高  
準々決 0-2 前商 ベスト8

ソフトテニス部

関東大会  
個人 根岸・野尻組 3回戦  
団体 2位  
インターハイ県予選  
団体 2位  
個人 清水・神宮組 1位  
根岸・野尻組 3位  
片山・木村組 7位  
インターハイ  
個人 清水・神宮組 3回戦  
根岸・野尻組 2回戦  
片山・木村組 1回戦  
県一年生大会  
個人 富所・神宮組 ベスト16  
新人大会  
団体 3位  
個人 富所・神宮組 3位  
植松・今井組 ベスト8  
國分・山口組 ベスト16  
全国選抜県予選 2位  
関東選抜大会 3回戦  
ハイスクールジャパンカップ予選  
個人 富所・神宮組 3位  
國分・山口組 3位

卓球部

新人大会  
シングルス 武井 悠 ベスト8  
佐藤健介 ベスト64  
県強化大会  
シングルス 武井 悠 ベスト16  
佐藤健介 ベスト64

ラグビー部

県選手権  
準々決 65-0 興陽  
準決勝 3-54 農二 ベスト4  
一年生大会  
1回戦 90-0 関学  
2回戦 5-36 県央  
新人大会  
1回戦 24-12 合同(前東・前工・桐工)

2回戦 10-17 伊東 ベスト8  
7人制大会  
2回戦 0-27 高商

サッカー部

インターハイ県予選  
4回戦 3-2 新島  
準々決 0-1 前商 ベスト8  
県高校サッカー選手権大会  
一次予選シード  
二次リーグ  
0-5 桐商  
2-3 前橋  
2-2 育英 ベスト16  
県新人リーグ  
第1節 2-2 高経附  
第2節 2-3 桐一  
第3節 1-2 前東  
第4節 1-2 常盤  
第5節 0-1 桐生  
第6節 2-0 高工  
第7節 5-2 館林 6位

水泳部

県総体  
50m自 今泉裕太 1位  
中間貴之 3位  
100m自 今泉裕太 6位  
1500m自 紋谷祐爾 7位  
200m個メ 賛田高弘 2位  
400m個メ 賛田高弘 1位  
飯野恵太 6位  
400mR 賛田・福田・今泉・中間 2位  
800mR 賛田・福田・今泉・中間 3位  
400mメR 賛田・中間・今泉・福田 3位  
学校対抗 3位  
春季新人水泳大会  
50m自 大島卓也 3位  
紋谷祐爾 4位  
白井克尚 6位  
飯野恵太 7位  
100m自 紋谷祐爾 2位  
大島卓也 5位  
白井克尚 8位  
飯野恵太 7位  
50m平 飯野恵太 1位  
50mバタ 大島卓也 1位  
佐俣友規 6位  
関東高校県予選  
50m自 今泉裕太 1位  
福田裕紀 4位  
仲間貴之 5位  
100m自 今泉裕太 6位  
1500m自 大島卓也 6位  
200mバタ 紋谷祐爾 8位  
200m個メ 賛田高弘 3位  
白井克尚 8位  
400m個メ 賛田高弘 2位  
富田悠介 6位  
400mR 賛田・福田・今泉・中間 2位

800mR 賛田・福田・今泉・紋谷 2位  
400mメR 賛田・中間・今泉・福田 3位

関東大会

50m自 今泉裕太  
200m個メ 賛田高弘  
400m個メ 賛田高弘  
400mR 賛田・福田・今泉・中間  
800mR 賛田・大島・今泉・紋谷  
400mメR 白井・今泉・中間・福田  
インターハイ  
400m個メ 賛田高弘 38位  
県高校新人大会  
100m自 紋谷祐爾 4位  
200m自 紋谷祐爾 4位  
200m平 高橋拓也 4位  
100mバタ 佐俣友規 6位  
200m個メ 深津知由 2位  
100m背 柴崎雄貴 6位  
200m背 深津知由 5位  
谷川洋輔 6位  
400mメR 南・高橋・紋谷・佐俣 3位  
200mR 紋谷・深津・南・佐俣 3位  
400mR 紋谷・佐俣・深津・南 2位  
国体  
少年A800mR 賛田高弘 4位  
少年A400m自 賛田高弘 13位

柔道部

関東大会 団体出場  
インターハイ県予選  
団体 ベスト8  
個人 60kg級 芹澤 準優勝  
66kg級 中野 3位  
81kg級 松嶋 3位  
新人大会  
団体 ベスト8  
全国高校柔道選手権大会県予選  
団体 ベスト8  
県学年別大会  
個人 三年の部 天田 2位  
二年の部 佐藤 2位

剣道部

インターハイ県予選  
2回戦 4-0 興陽  
3回戦 2-3 太商 ベスト16  
県新人大会  
2回戦 3-2 樹徳  
3回戦 0-4 農二 ベスト16

硬式テニス部

インターハイ県予選  
団体 ベスト8  
個人シングルス 鈴木悠平 ベスト8  
個人ダブルス 井上・佐々木組 3位



高崎高校 陸上部 OB会 会長 谷 一行(70期)

県新人大会  
 団体 3位  
 個人シングルス  
 新開康平 ベスト8  
 松野圭馬 ベスト8  
 個人ダブルス  
 石黒・松野組 ベスト8

**空手道部**

インターハイ県予選  
 個人組手 松本 ベスト8  
 小此木 3回戦敗退  
 小池 2回戦敗退  
 団体組手 対桐高 1回戦敗退  
 1・2年生大会  
 個人形 松本 決勝9位  
 個人組手 松本 ベスト8  
 小此木 3回戦敗退  
 宮入 2回戦敗退

新人大会  
 個人組手 松本 優勝  
 宮入 3回戦敗退  
 団体組手 ベスト8

関東選抜大会  
 個人組手 松本  
 北関東ブロック3位  
 全国選抜大会  
 個人組手 松本 1回戦敗退

**硬式野球部**

全国高校野球選手権大会県予選  
 2回戦 7-6 高商  
 3回戦 5-4 桐生  
 4回戦 3-2 伊東  
 準々決 2-1 高経附  
 準決勝 1-10 前工 ベスト4  
 秋季関東大会県予選  
 2回戦 6-0 沼田  
 3回戦 2-3 常盤 ベスト32

**スキー・スケート部**

県総体  
 大回転 園田 13位  
 回転 園田 7位  
 関東大会  
 大回転 園田 17位  
 回転 園田 6位  
 全国大会  
 回転 園田 52位

**弓道部**

インターハイ県予選  
 予選敗退

**バドミントン部**

インターハイ県予選  
 団体 1回戦 3-1 関学  
 2回戦 0-3 太田  
 新人大会  
 団体 2回戦 2-3 前橋  
 シングルス  
 柴田 5回戦 ベスト32  
 秋池 4回戦

ダブルス  
 柴田・深代組 4回戦 ベスト32  
 一年生大会 岡田 3位  
 高校生大会  
 柴田 6回戦 ベスト8  
 秋池 5回戦

**軟式野球部**

全国高校軟式野球大会県予選  
 2回戦 3-11 太田  
 新人大会  
 2回戦 0-7 桐生

第40回高校総体  
 成績一覧(平成17年)

**総合順位 4位**

**ソフトテニス部**

団体 2回戦 3-0 前南  
 3回戦 2-0 富岡  
 4回戦 2-0 高北  
 決勝リーグ 1-2 前商  
 0-3 農二  
 2-1 伊市 3位  
 (関東大会出場)  
 個人 植松・今井組 ベスト8  
 (関東大会出場)  
 片山・木村組 ベスト8  
 (関東大会出場)  
 西田・干田組 ベスト8  
 (関東大会出場)

**サッカー部**

2回戦 6-1 共愛  
 3回戦 0-3 桐生 ベスト16

**バスケットボール部**

2回戦 135-22 勢農  
 3回戦 119-25 前市  
 4回戦 110-27 高北  
 準々決 83-93 前商 5位

**卓球部**

学校対抗 1回戦 3-0 ろう  
 2回戦 3-2 伊東  
 3回戦 0-3 前東  
 9位  
 シングルス 武井 ベスト32  
 佐藤 ベスト64  
 ダブルス 武井・田村組 ベスト16

**バレーボール部**

4回戦 2-0 渋工  
 準々決 0-2 伊東

**柔道部**

団体 ベスト8

**剣道部**

1回戦 1-0 沼田

**ラグビー部**

1回戦 19-22 桐生

**バドミントン部**

団体 2回戦 2-1 青翠  
 3回戦 0-2 桐生  
 シングルス  
 大久保・柴田・滝川 5回戦  
 井田・岡田 4回戦  
 ダブルス  
 大久保・柴田組 4回戦  
 滝川・小出組、神田・岡田組、  
 土屋・新井組 3回戦

**硬式テニス部**

団体 2回戦 3-0 大泉  
 3回戦 2-0 桐商  
 4回戦 2-1 桐南  
 決勝リーグ 0-3 高工  
 3-0 前西  
 1-2 前南 3位  
 個人シングルス  
 新開 3位  
 住谷 ベスト8  
 ダブルス  
 石黒・住谷組 ベスト8

**弓道部**

予選落ち

平成16年度 翠巒体育会収支計算書 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日

科目	金額	摘要
年会費収入	350,000	@25,000×14部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	210,000	@15,000×14部
親睦会収入	220,000	H16. 6.25 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	240,000	H16. 8.29 ローズベイクントリークラブ
ソフトボール大会収入	191,000	H16.11.20 高崎高校校庭及び錦山荘
同窓会コンペより寄付金	50,000	第11回同窓会コンペ(67期幹事)
雑収入	228,000	祝金、会議個人負担
受取利息	20	群馬銀行
(当期収入合計)	(1,789,020)	
前期繰越収支差額	665,702	
収入の部合計	2,454,722	
総会・親睦会費	288,750	H16.6.25 高崎ビューホテル
現役補助金	95,000	関東大会、インターハイ出場の運動部
会報発行費	379,417	「翠巒体育」第23号
ゴルフコンペ費	211,944	H16. 8.29 ローズベイクントリークラブ
ソフトボール大会費	180,614	H16.11.20 高崎高校校庭及び錦山荘
慶弔見舞金	124,000	
消耗品費	17,640	
事務用品・通信費	35,250	
会議運営費	378,958	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	630	群馬銀行
予備費	50,000	応援団旗補助
(当期支出合計)	(1,762,203)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	1,762,203	
(収支差額)	(26,817)	(当期収入合計)-(当期支出合計)
前期繰越収支差額	692,519	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成17年3月31日現在

科目	金額	摘要
現金	0	現金手許有高
預金	692,519	群馬銀行高崎栄町(番)#0783238 一般会計分
正味財産	692,519	

特別会計 平成17年3月31日現在

科目	金額	摘要
普通預金	500,000	群馬銀行高崎西(番)#0593363 特別会計分
特別会計財産	500,000	

ガンバレ! ソフトテニス部

高崎高校 ソフトテニス部 OB会 会長 下山 万吉雄 (63期)

翠巒体育会役員名簿

(平成 17. 6. 25)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋 浩生	78	バレーボール	
副会長	横田 茂	55	剣道	
//	庭田 登志男	68	柔道	
//	谷 一行	70	陸上	
//	関根 正志	70	ラグビー	
//	田口 恵一	74	ソフトテニス	
//	秋山 賢治	74	応援	
//	清野 哲雄	74	サッカー	
//	清水 正郎	75	野球	
//	齋藤 英敏	83	硬式テニス	
//	松本 基志	77	山岳	
// (情報部長)	堤 康高	71	卓球	
// (編集局長)	橋爪 良真	75	バスケット	
// (会計)	永尾 俊弘	70	水泳	
会計	吉井 章一	78	山岳	
監査	川手 義昭	62	野球	
//	後藤 次一	68	陸上	
//	阿久澤 茂	69	サッカー	
顧問	國峯 善次郎	50	サッカー	
//	岩田 武雄	53	バスケット	
//	山口 正敏	58	卓球	
//	鳥居 吉二	73	柔道	
事務局	岩丸 高明	82	バレーボール	
局長	富田 和弘	85	応援	
//	茂原 賢三	89	陸上	
理事	岩丸 高明	82	バレーボール	
//	坂本 弘	87	//	
//	長谷川 裕二	93	//	
//	小池 政一	77	剣道	
//	浦野 英孝	77	//	
//	滝野 修司	86	//	
//	関口 茂樹	63	柔道	
//	志田 登	82	//	
//	寺沢 保夫	83	//	
//	後藤 次一	68	陸上	
//	坂本 正樹	71	//	
//	木村 隆一	74	//	
//	秋山 雅巳	70	ラグビー	
//	上羽 正弘	72	//	
//	須永 信夫	74	//	
//	新谷 恭一	54	水泳	
//	斉藤 全賢	75	//	
//	白井 浩一	89	//	
//	深沢 昇	57	卓球	
//	角倉 信久	69	//	
//	橋爪 洋介	85	//	
//	下山 万吉雄	63	ソフトテニス	
//	丸山 博	68	//	
//	鈴木 伸生	80	応援	
//	藤井 正弘	81	//	
//	富田 和弘	85	//	
//	國峯 賢一	74	サッカー	
//	清水 清志	81	//	
//	安藤 英彦	86	//	
//	小林 均	77	野球	
//	清水 威	85	//	
//	榊原 一好	79	バスケット	
//	佐藤 弘之	81	//	
//	長谷川 泰三	83	硬式テニス	
//	松本 潔志	84	//	
//	長井 友之	74	山岳	
//	吉井 章一	78	//	

役職	氏名	期	運動部名	電話
編集委員	岩丸 高明	82	バレーボール	
//	小池 政一	77	剣道	
//	鳥居 吉二	73	柔道	
//	波多野 重雄	77	陸上	
//	大田部 功	85	ラグビー	
//	永尾 俊弘	70	水泳	
//	堤 康高	71	卓球	
//	片野 光二郎	88	ソフトテニス	
//	藤井 正弘	81	応援	
//	清水 清志	81	サッカー	
//	吉井 剛	80	野球	
//	橋爪 良真	75	バスケット	
//	浜名 和也	84	硬式テニス	
//	吉井 章一	78	山岳	

学校側顧問	
学 校 長	栗原 健
教 頭	飯塚 光
運 動 部 長	長竹 潤
バレーボール	塚本 泰弘・茂木 豊・宮川 淳吾
剣 道	戸塚 泰聖・渡辺 正一・萩原 弘和
柔 道	鳥居 吉二・木村 高己・関口 博士
陸 上	田島 正徳・茂原 賢三・田中 雅徳・清光 竜児
ラ グ ビ ー	船戸 涉・大野 俊彦・西澤 南・中野 憲一
水 泳	橋本 晃一・諏訪 賢一
卓 球	内田 均・澁谷 正章
ソフトテニス	井坂 奨・柴崎 浩明・仲谷 佳郎
応 援	川崎 洋一・間々田 功
サ ッ カ ー	笠原 恵太・塩原 秋雄・川崎 洋一・曾根 秀明
野 球	大須賀 誠一・毒島 健一・島田 学・小林 正好
バスケット	長竹 潤・篠原 浩一・山田 樞
硬式テニス	中村 健一・松本 正志・清光 竜児
山 岳	森泉 孝行・齊藤 敬一・小林 政幸・上原 弘充
スキー・スケート	小林 政幸・仲谷 佳郎・清光 竜児
弓 道	間々田 功・天野 正明・前田 敏明
空 手 道	上原 弘充・曾根 秀明・工藤 正宏
軟式野球	関口 理・関根 正弘・前田 敏明
バドミントン	三浦 昭久・宮崎 秀明

OB 会長名簿

運動部名	氏名	期	電話
バレーボール	菊地 俊二	52	
剣 道	横田 茂	55	
柔 道	関口 茂樹	63	
陸 上	谷 一行	70	
ラ グ ビ ー	関根 正志	70	
水 泳	永尾 俊弘	70	
卓 球	深沢 昇	57	
ソフトテニス	下山 万吉雄	63	
応 援	秋山 賢治	74	
サ ッ カ ー	清野 哲雄	74	
野 球	川手 義昭	62	
バスケット	林 進一	72	
硬式テニス	齋藤 英敏	83	
山 岳	清水 正爾	55	

◎ [清水・81期] 高校生当時からサッカーに明け暮れ、40を超えた今でもサッカーに明け暮れています。いまでも多くの先輩や仲間を支えられ平凡な毎日を送っています。いま、サッカー協会の仕事に携わっています。指導者のライセンスを取得し、中学生・高校生・大学生とさまざまな年代の人たちにサッカーの楽しさやすばらしさを伝えています。インストラクターとして、各チームの指導者と接し、子供たちにサッカーの楽しさやすばらしさを伝えてほしいとお願いしています。今では、自分がサッカーのプレーをして楽しむより、中学生をはじめとする子供たちにサッカーを教え、どんどんうまくなっていく様子を見るのが一番の楽しみになっているような気がします。今までお世話になった「翠巒」に少しでもお役に立ちたい。そして、これからもお世話になりながら夢や希望を持つ高生や子供たちをサポートする「翠巒体育」を考えていければと思います。

編集後記